

ズットナー氏の像建立を提唱

ノーベル平和賞女性第1号受賞者

高速シートシャッター「ハッピーゲート門番」シリーズと上下水道などの水総合管理システム「やくも水神」を製造、販売する小松電機産業株式会社(松江市乃木富福町、小松昭夫社長)が11日、ノーベル平和賞の女性第1号受賞者として知られるベルタ・フォン・ズットナー氏の像の建立活動を全国や世界に提唱していくことを発表した。

小松電機産業



制作された3号像と小松社長(左から2番目) = 11日、小松電機産業本社

ズットナー氏は、1843年から1914年まで生きたオーストリアの作家。1889年に「武器を捨てよ」を発表するなど、平和活動にも尽くし、1905年にノーベル平和賞を受賞した。像はオランダ人の女性芸術家、イングリッド・ロレマ氏がズットナー氏の没後100年を機に制作したもので、高さ約2・5m、重さ約300kg。銅製のズットナー氏の胸像とスチール製の柱、鋳物でできた台座からなっている。柱にはドイツ語や英語、日本語など、エスペラントも含め18カ国語で「武器を捨てよ」と書かれている。ロレマ氏はこれまでに3体、この像を制作しており、うち2体が同社から依頼されたもの。2号像となる1体はオーストリア・ウィーンにある平和記念館に展示されており、3号像は23日に同社が開くシンポジウム「八雲立つ出雲から日が昇る」に合わせて作られ、このほど送られてきた。同社は社業で得た利潤で平和活動に取り組み、2013年には小松社長がオランダ・ハーグ市によるカーネギー平和賞100周年記念事業において世界平和事業家20人の一人として選ばれている。

同社が像の製造権を得ており、現在、国内での像の製造が可能か打診している。可能となれば今後、全国や世界の平和を象徴する建物などへの設置を呼び掛けていく。

小松社長は「ズットナー氏は日本やアジアでは知られていない存在。彼女の功績を松江から広めていきたい」とし、「これからは連携の時代。オールジャパンで世界に貢献する活動をしなさいといけな」と話した。